

第三者評価結果

①第三者評価機関名

評価機関認証番号 石川県07-014
社会福祉法人 金沢市社会福祉協議会
(訪問調査日：平成23年10月21日(金))

②事業者情報

名称： 社会福祉法人末広保育園 末広保育園	種別： 保育園
代表者氏名：理事長 高桑三郎	定員(利用人数)： 90人
所在地：〒920-0944 石川県金沢市三口新町3丁目9番10号	

③総評

◇特に評価の高い点

1. 平成20年度から市内では先がけて保育園利用者調査を受け、第三者評価を受審し、保護者の声を保育サービスの質の向上に反映するよう努めている。
2. 施設整備計画に基づき施設全体を機能的に増改築し、着実な成果をあげている。
3. 地域交流室兼活動室を設け、未就園児・家族との交流事業、一人暮らしの高齢者を招いての食事会、高齢者による絵本の読み聞かせなどの地域との交流に積極的に取り組んでいる。
4. 利用者調査結果、第三者評価結果、税理士による外部監査や市の指導監査結果を、理事会の他に職員と保護者にも公表している。役員、職員、保護者が情報を共有し、地域社会全体に開かれた保育園にしようと努めている。
5. 理事には園長のほか主任保育士を加えて、現場の意見や実情を理事会に直接報告できる体制になっている。理事長を中心とした理事会が保育園の経営全般に理解を深め、地域に開かれ、民主的で健全な運営体制が構築されている。

◇改善を求められる点

1. 手づくりおやつ回数や内容を改善することが望まれる。

④第三者評価結果に対する事業者のコメント

平成20年度から連続して評価を受け、今回で4回目となります。最初のころは、第三者評価の結果について多少なり戸惑いなどもありましたが、最近では素直に受け止められるようになりました。

同時に利用者アンケートも4回目となりますが、これも大変参考になります。

これらが定数増員に結び付いたのか分かりませんが、平成21年度は60名、平成22年度は70名、平成23年度は90名と、毎年増員となっております。

<参考：利用者アンケート実施状況>

実施期間 平成23年9月27日（火）～10月17日（月）

送付数 70通

回答数 46通（回答率65.7%）

⑤評価細目の第三者評価結果（別添）

評価細目の第三者評価結果 末広保育園(保育所共通評価基準)

評価対象 I 福祉サービスの基本方針と組織

I-1 理念・基本方針

<公表用>

	第三者評価結果	コメント
I-1-(1) 理念、基本方針が確立されている。		
① 理念が明文化されている。	Ⓐ b・c	・ ホームページ、事業計画、通園のこころえ、園児募集パンフレットには「子どもと保護者と保育士の信頼関係を深め、子どもの心によりそった保育をする」という理念が明文化されている。
② 理念に基づく基本方針が明文化されている。	Ⓐ b・c	・ 理念に基づき次の4つの基本方針が明文化されている。①人間への信頼を育てる、②社会への安心を育てる、③自分への自信を育てる、④自分の将来への期待を育てる。
I-1-(2) 理念や基本方針が周知されている。		
① 理念や基本方針が職員に周知されている。	Ⓐ b・c	・ 毎週火曜日の職員会議で、理念、基本方針の確認を繰り返し行っている。
② 理念や基本方針が利用者等に周知されている。	Ⓐ b・c	・ ホームページ、園だよりや地元町会の回覧板を通じて利用者や地域住民に知らせている。

I-2 計画の策定

	第三者評価結果	コメント
I-2-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
① 中・長期計画が策定されている。	Ⓐ b・c	・ 平成18年度以降の中長期計画が策定されている。「保育実践の改善・向上」、「子どもの健康及び安全の確保」、「保育士の資質、専門性の向上」、「保育を支える基盤の強化」を柱とし、実施時期を明記した具体的なものとなっている。
② 中・長期計画を踏まえた事業計画が策定されている。	Ⓐ b・c	・ この中長期計画をふまえて、事業計画が具体的に策定されており、着実に実施されている。
		・ 施設整備計画に基づき、大規模な施設の増改築を行い、成果をあげている。

評価細目の第三者評価結果 末広保育園(保育所共通評価基準)

I-2 計画の策定

	第三者評価結果	コメント
I-2-(2) 計画が適切に策定されている。		・ 事業計画は、保護者の意見等も考慮して職場全体で検討している。その結果を理事会で協議し、決定している。
① 計画の策定が組織的に行われている。	Ⓐ b・c	・ 事業計画は、園長と主任保育士が4月から5月にかけて保護者会で説明する。保育園玄関で掲示し、地元町会でも回覧板などで知らせている。
② 計画が職員や利用者に周知されている。	Ⓐ b・c	・ 保護者会(年4回)に参加し、計画に対して理解を促すとともに、周知状況を確認している。

I-3 管理者の責任とリーダーシップ

	第三者評価結果	コメント
I-3-(1) 管理者の責任が明確にされている。		・ 職務分担表において、管理者としての園長の役割と責任が明らかにされている。職員会議において園長がこれを表明している。
① 管理者自らの役割と責任を職員に対して表明している。	Ⓐ b・c	・ 所長研修会、新保育指針研修会、防火管理者研修会など関係機関が行う研修、法定講習に出席し知識の習得に励んでいる。その後の職員会議で伝達し、研修内容を職場全体で共有化している。
② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っている。	Ⓐ b・c	
I-3-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		・ 末広保育園独自の保育支援システムを構築した。各クラスに設置されているパソコンを通して保育日誌、保健日誌、成長記録、給食日誌、週計画、月間指導計画、年間指導計画など子どもに関する関係資料をいつでも全職員が見ることができ、日常業務に活かすことができる。園長は、これらに目を通し定期的、継続的に評価、分析を行っている。
① 質の向上に意欲を持ちその取り組みに指導力を発揮している。	Ⓐ b・c	
② 経営や業務の効率化と改善に向けた取組みに指導力を発揮している。	Ⓐ b・c	

評価細目の第三者評価結果 末広保育園(保育所共通評価基準)

調査対象Ⅱ 組織の運営管理

Ⅱ-1 経営状況の把握

	第三者評価結果	コメント
Ⅱ-1-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		<ul style="list-style-type: none"> 園長、主任保育士は、行政や市社協等が主催する研修へ参加し、事業経営を取り巻く環境の把握に努めている。参考図書の定期購読などを通じて、社会福祉事業全体の動向について把握に努めている。
① 事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	○ a b・c	<ul style="list-style-type: none"> 地域の子どもの数や世帯構成等は、園長が地元町会の会合に出席したり、金沢市から統計データを取り寄せるなどして把握している。
② 経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取り組みを行っている。	○ a b・c	<ul style="list-style-type: none"> 上記に加え、毎月の在園児数、年齢構成の推移、職員の配置状況などをもとに経営分析を行っている。その結果として入所児童の増加と施設整備計画が策定され、中長期計画にも盛り込まれている。
③ 外部監査が実施されている。	○ a b・c	<ul style="list-style-type: none"> 税理士による外部監査を実施している。 外部監査の結果は、金沢市の指導監査結果と併せて、職員会議、保護者会、理事会で報告されている。

Ⅱ-2 人材の確保・養成

	第三者評価結果	コメント
Ⅱ-2-(1) 人事管理の体制が整備されている。		<ul style="list-style-type: none"> 園長は、在園児数の変化や職員の退職、休業に対応するため、以前保育園に在職していた人や保護者の知り合いなどを独自に登録して人材確保に努めるなどの工夫をしている。
① 必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	○ a b・c	<ul style="list-style-type: none"> 無資格者には、資格取得を支援するなど人材確保、育成に努めている。
② 人事考課が客観的な基準に基づいて行われている。	a ○ b c	<ul style="list-style-type: none"> 園長、主任保育士は人事考課の重要性をふまえ、今後、検討すべき課題として認識している。

評価細目の第三者評価結果 末広保育園(保育所共通評価基準)

Ⅱ-2 人材の確保・養成

	第三者評価結果	コメント
Ⅱ-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
① 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	a・ b ・c	<ul style="list-style-type: none"> ・ 独自で構築した保育支援システムの中に職員の勤務時間、有給休暇、特別休暇の取得状況、健康診断結果が入力されて一元的に管理されている。 ・ 職員の健康管理、保育サービスの質の向上などを考慮して年次有給休暇とは別に、夏季5日間の特別休暇を全職員に付与している。また、就業時間内の1時間休憩の徹底など職場環境改善に積極的に取り組んでいる。
② 福利厚生事業に積極的に取り組んでいる。	a ・b・c	
Ⅱ-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
① 職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	a ・b・c	<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修計画の中に信頼される職員を目指すことが方針として明記されている。 ・ 利用者増に伴い、職員を増加したため、職務経験年数の浅い職員が増えた。保育の基本的な知識、技能に関する研修に積極的に取り組んでいる。 ・ 研修報告は、保育支援システムに入力され、全職員が見ることができる。園長、主任保育士は、業務に反映されているかを評価し、必要な場合は、再度同じ内容の研修を受講させることがある。
② 個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取り組みが行われている。	a ・b・c	
③ 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	a ・b・c	
Ⅱ-2-(4) 実習生の受け入れが適切に行われている。		<ul style="list-style-type: none"> ・ 園長は、保育園の社会的使命として、今後の人材育成と施設の社会化を目指して実習生を積極的に受け入れている。
① 実習生の受け入れに対する基本的な姿勢を明確にし体制を整備している。	a・ b ・c	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実習生の受け入れに関する基本的考え方や業務内容をまとめた実習生受け入れマニュアルの整備が望まれる。
② 実習生の育成について積極的な取り組みを行っている。	a・ b ・c	

評価細目の第三者評価結果 末広保育園(保育所共通評価基準)

Ⅱ-3 安全管理

	第三者評価結果	コメント
Ⅱ-3-(1) 利用者の安全を確保するための取り組みが行われている。		
① 緊急時(事故、感染症の発生時など)の対応など利用者の安全確保のための体制が整備されている。	a・b・c	<ul style="list-style-type: none"> ・ 健康管理、衛生管理、安全管理、不審者対応、応急処置の5つの対応マニュアルが整備され、各保育室に配置、職員に周知されている。 ・ 複数の損害賠償責任保険に加入している。 ・ 日常業務の中で、職員はヒヤリハット報告書を作成している。この報告は保育支援システムに入力され、全職員が共通認識することができる。
② 利用者の安全確保のためのリスクを把握し対策を実行している。	a・b・c	<ul style="list-style-type: none"> ・ ヒヤリハット報告された事例は、職員会議で発生原因を分析し、防止策を検討している。また、必要に応じて、その結果を保護者へも連絡し協力を求めている。

評価細目の第三者評価結果 末広保育園(保育所共通評価基準)

II-4 地域との交流と連携

		第三者評価結果	コメント
II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。			・ 地元町会の会合や清掃活動、バーベキュー大会などの行事に参加し、園児の作成したうちわを渡すなど、地域との絆を大切にしている。
①	利用者と地域とのかかわりを大切にしている。	Ⓐ b・c	・ 簡易スキャナーで貸出手続きができる図書管理システムを導入し、園児や地域の未就園児に積極的に絵本を貸し出している。また、地域交流室兼活動室を設け、育児相談などを行っている。
②	事業所が有する機能を地域に還元している。	Ⓐ b・c	
③	ボランティア受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	Ⓐ b・c	
II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。			・ ボランティア受け入れの研修に参加し、ボランティア受け入れマニュアルがある。
①	必要な社会資源を明確にしている。	Ⓐ b・c	・ 児童相談所や警察、総合病院、地区民生委員協議会などの関係機関、団体の連絡先はリスト化され事務室に掲示されている。
②	関係機関等との連携が適切に行われている。	Ⓐ b・c	
II-4-(3) 地域の福祉向上のための取り組みを行っている。			・ 地元町会会合や行事参加など様々な地域での機会を捉えて福祉ニーズの把握に努めている。
①	地域の福祉ニーズを把握している。	Ⓐ b・c	・ 地域の独居高齢者を招いての昼食会を行っている。独居高齢者には絵本の読み手として協力いただき、園児達はこれを楽しみにしている。
②	地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。	Ⓐ b・c	

評価細目の第三者評価結果 末広保育園(保育所共通評価基準)

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

	第三者評価結果	コメント
Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		
① 利用者を尊重したサービス提供について共通の理解をもつための取り組みを行っている。	○a・b・c	<ul style="list-style-type: none"> ・ プライバシー保護の重要性は職員会議や研修を通じて全職員に周知している。 ・ 守秘義務に関する規則が整備されている。職員は保育園に誓約書を提出している。
② 利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	○a・b・c	
Ⅲ-1-(2) 利用者満足の向上に努めている。		
① 利用者満足の向上を意図した仕組みを整備している。	○a・b・c	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日常、保護者と接する中で職員が保護者からの意見を聴き記録している。その記録は、保育支援システムに入力され、全職員が共通認識できる。 ・ 平成20年度より4年間継続して、第三者評価と利用者調査を受審し、その結果を保護者に公表し、保育園サービスの改善につなげている。
② 利用者満足の向上に向けた取り組みを行っている。	○a・b・c	
Ⅲ-1-(3) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		
① 利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。	○a・b・c	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもの登降園時の会話や連絡帳によるやりとりを通じて保護者との連携を密にし、ニーズの把握に努めている。 ・ 主任保育士が苦情受付担当者、園長が苦情解決責任者、監事2名を第三者委員として苦情受付の体制を整備している。これらの情報はホームページに公表されている。
② 苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。	○a・b・c	
③ 利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	○a・b・c	

評価細目の第三者評価結果 末広保育園(保育所共通評価基準)

Ⅲ-2 サービスの質の確保

	第三者評価結果	コメント
Ⅲ-2-(1) 質の向上に向けた取り組みが組織的に行われている。		
① サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。	○ a・b・c	<ul style="list-style-type: none"> ・ サービスの評価分析は職場全体で行われ、改善策を検討している。その結果は、保育支援システムに入力され、全職員が共通認識できる。 ・ 改善すべき意見、提案などは職員会議、保護者会などを通じて検討されている。内容によっては、理事会において協議し、決定している。
② 評価の結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にしている。	○ a・b・c	
③ 課題に対する改善策・改善計画を立て実施している。	○ a・b・c	
Ⅲ-2-(2) 個々のサービスの標準的な実施方法が確立している。		
① 個々のサービスについて標準的な実施方法が文書化されサービスが提供されている。	○ a・b・c	<ul style="list-style-type: none"> ・ 個々のサービスについての標準的な実施方法は、保育支援システムの中に入力されており、全職員が共通認識できる。毎月の職員会議や園内研修で、定期的に見直しを行っている。 ・ 一人ひとりの園児の記録は全て保育支援システムに入力され、園長と主任保育士が点検している。その情報は全職員が共通認識できる。 ・ 保育支援システムの中に情報開示に関する基準が定められている。
② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	○ a・b・c	
Ⅲ-2-(3) サービス実施の記録が適切に行われている。		
① 利用者に関するサービス実施状況の記録が適切に行われている。	○ a・b・c	
② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。	○ a・b・c	
③ 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	○ a・b・c	

評価細目の第三者評価結果 末広保育園(保育所共通評価基準)

Ⅲ-3 サービスの開始・継続

	第三者評価結果	コメント
Ⅲ-3-(1) サービス提供の開始が適切に行われている。		
① 利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	○ a・b・c	・ ホームページ、園児募集パンフレットには年間の主な行事内容とその様子が分かる写真が掲載されている。入園後、進級後に必要なものは、費用も併せて年齢毎に資料を配布している。
② サービスの開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。	○ a・b・c	・ サービス利用開始時には「入園のころえ」を配布し説明、同意を得ている。入園のころえには、年齢ごとに準備するもの、登降園時の注意事項などが記載してある。
Ⅲ-3-(2) サービスの継続性に配慮した対応が行われている。		
① 事業所の変更や家庭への移行などにあたりサービスの継続性に配慮した対応を行っている。	○ a・b・c	・ 必要に応じて、発達の記録を次の保育所に届けている。また、卒園児宛に夏休み木工教室等行事の案内をするなど継続性に配慮している。

Ⅲ-4 サービス実施計画の策定

	第三者評価結果	コメント
Ⅲ-4-(1) 利用者のアセスメントが行われている。		
① 定められた手順に従ってアセスメントを行っている。	○ a・b・c	・ 園児の身体状況、生活状況、特徴などは継続的に保育支援システムに入力されるなど着実にアセスメントが行われている。
② 利用者の課題を個別のサービス場面ごとに明示している。	○ a・b・c	・ サービス実施計画は、蓄積されたデータを基に担当職員が案を作成する。次に、全職員でこれを協議し、主任保育士、園長の承認を得て実施計画を決定している。
Ⅲ-4-(2) 利用者に対するサービス実施計画が策定されている。		
① サービス実施計画を適切に策定している。	○ a・b・c	・ 指導計画を見直す際には、保護者の同意を得ることが望まれる。
② 定期的にサービス実施計画の評価・見直しを行っている。	a・○ b・c	

評価細目の第三者評価結果 末広保育園(保育所版サービス内容評価基準)

A-1 子どもの発達援助

A-1-(1) 発達援助の基本

<公表用>

	第三者評価結果	コメント
① 保育計画が、保育の基本方針に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して作成されている。	○a・b・c	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育計画は、園の基本理念、基本方針を基に、さらに地域の実情や保護者の意見等を考慮して作成されている。 ・ 指導計画は、週毎、月毎に評価と反省が行われ、翌月の指導計画に反映されている。
② 指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき、指導計画を改定している。	○a・b・c	<ul style="list-style-type: none"> ・ 週毎の評価反省は担任の自己評価のみ。月毎の評価反省は、担任の自己評価の後、主任保育士及び園長の承認をとっている。

A-1-(2) 健康管理・食事

	第三者評価結果	コメント
① 登所時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している。	○a・b・c	<ul style="list-style-type: none"> ・ 健康管理マニュアルが整備されている。また、今年度から感染症等把握システムを活用し、園児の健康状態の把握に努めている。 ・ 毎年度、内科検診を2回、歯科検診を2回実施している。検診結果は、職員が口頭で、また、連絡帳を通じて保護者あて連絡している。
② 健康診断の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。	○a・b・c	<ul style="list-style-type: none"> ・ 内科検診終了後、嘱託医、園長、主任保育士、クラス担任による話し合いが持たれ、発達に関して問題があると思われる場合は、保護者の了解を得たうえで教育プラザ富樫等の専門機関につなげている。
③ 歯科診断の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。	○a・b・c	<ul style="list-style-type: none"> ・ 衛生管理マニュアルの中に感染症防止対策が具体的に定められている。感染症が発生した場合は、個人が特定されないよう配慮したうえで、発生状況と対処方法を玄関前の掲示板により保護者あて知らせている。

評価細目の第三者評価結果 末広保育園(保育所版サービス内容評価基準)

A-1-(2) 健康管理・食事

	第三者評価結果	コメント
④ 感染症発生時に対応できるマニュアルがあり、発生状況を保護者、全職員に通知している。	○a・b・c	・ 緊急連絡メールシステムを導入し、保育の安全に関する情報を速やかに保護者に伝えている。
⑤ 食事を楽しむことができる工夫をしている	○a・b・c	・ 毎月1回のバイキング給食を行っている。この他に、地域の独居高齢者や民生委員、大学生ボランティア等を招いての昼食会を実施している。様々な人達と食事をすることで、楽しい雰囲気とともに食事マナーを覚える良い機会となっている。
⑥ 子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている。	○a・b・c	・ その日の給食の要望や残食の状況は担当職員が保育支援システムを通じて栄養士に連絡する。栄養士はこれらを確認し、その後の献立や調理に反映させている。栄養士自身も、毎日、給食時に各クラスを巡回し様子を見ている。
⑦ 子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している。	○a・b・c	・ バイキング給食時には、予約制で保護者も参加することができる。参加できない保護者のために降園時に試食してもらい、レシピを届けるなどして家庭でも作ってもらえるような配慮をしている。
⑧ アレルギー疾患をもつ子どもに対し、専門医からの指示を得て、適切な対応を行っている。	○a・b・c	・ アレルギー疾患を持つ園児の保護者からは、必ず医師の診断書を提出してもらい、それに基づき除去食の調理や服薬管理を行っている。診断書は1年ごとに提出してもらい経過を確認している。

A-1-(3) 保育環境

	第三者評価結果	コメント
① 子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	○a・b・c	・ 主任保育士と臨時保育士をクラス担任を持たない形で配置し、集団に馴染みにくい園児や体調の優れない園児に対応している。
② 生活の場に相応しい環境とする取り組みを行っている。	○a・b・c	・ 空気清浄機の設置や窓の開閉による換気、二重カーテンによる採光調節などの配慮が見られる。

評価細目の第三者評価結果 末広保育園(保育所版サービス内容評価基準)

A-1-(4) 保育内容

	第三者評価結果	コメント
① 子ども一人ひとりへの理解を深め、受容しようと努めている。	○ a・b・c	・ 職員が記録した園児一人ひとりの保育日誌や保育経過は、保育支援システムを通じて全職員が把握し、園児一人ひとりを受容しようと努めている。
② 基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対応している。	○ a・b・c	・ 自分で選んで遊べるように、園児の発達段階に応じた遊びや玩具が用意されている。このような環境整備のほか、保育士が園児が何をして遊びたいか気づくような働きかけをしている。
③ 子どもが自発的に活動できる環境が整備されている。	○ a・b・c	・ 衣類の着脱、排泄、午睡は、決まった時間に行っている。園児の自発的な気持と達成感を第一に考え、無理強いせず柔軟に対応している。
④ 身近な自然や社会とかかわれるような取り組みがなされている。	○ a・b・c	・ 路線バスを利用して社会見学を行っている。地域への積極的な参加を通じて社会的ルールを身に付ける機会を設けている。
⑤ さまざまな表現活動が自由に体験できるよう配慮されている。	○ a・b・c	・ 金沢美術工芸大学生ボランティアの協力を得て、アート教室や木工芸教室等様々な表現活動を行っている。製作物は、保育室だけでなく廊下や階段の踊り場などに展示している。
⑥ 遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している。	○ a・b・c	・ 当番活動の内容決めや、ごっこ遊び、異年齢児との遊びの中で、自分の考えを伝えたり相手の考えを聞く機会を設け、園児が人間関係を作れるよう働きかけている。
⑦ 子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てるよう配慮している。	○ a・b・c	・ 大人の固定観念を押し付けないよう園児の感じた印象や気持ちを聞くことを大切にしている。園児たちがお互いの良い所に気づくような働きかけをしている。

評価細目の第三者評価結果 末広保育園(保育所版サービス内容評価基準)

A-1-(4) 保育内容

	第三者評価結果	コメント
⑧ 性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している。	○a・b・c	<ul style="list-style-type: none"> ・ 延長保育を実施している。常に複数の職員を配置し、安全に配慮している。 ・ 離乳食を進める際に、毎月1回調査票を記入してもらう。また、家庭での喫食状況や、園での喫食状況を連絡帳でお互いに確認している。
⑨ 乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮が見られる。	○a・b・c	<ul style="list-style-type: none"> ・ 家庭での授乳状況や睡眠のリズム、コミュニケーションのとり方などを保護者から確認し、乳児保育を行っている。人見知りが強い乳児には専任の保育士を配置している。
⑩ 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮が見られる。	○a・b・c	<ul style="list-style-type: none"> ・ 乳児室の床はクッション性の塩化ビニール素材でできている。また、クッション性のマットも敷いてあり、安全性に配慮している。 ・ 衣類の着脱、排泄、午睡は、生活リズムを整え発達を促すため決まった時間に行っている。
⑪ 障害児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	○a・b・c	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現在、障害児はいない。保護者から相談があった場合は、教育プラザ富樫のこども総合相談センターに相談し、必要に応じ保護者との話し合いの機会を設けている。

評価細目の第三者評価結果 末広保育園(保育所版サービス内容評価基準)

A-2 子育て支援

A-2-(1) 入所児童の保護者の育児支援

	第三者評価結果	コメント
① 一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え個別面談などを行っている。	○ a・b・c	・ 大型スクリーンを玄関に設置し、3歳以上児の毎日の活動内容を保護者に知らせている。
② 家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている。	○ a・b・c	・ 日々の登降園時に保護者から受けた必要な情報は、職員がそれぞれ記録し、全職員が把握することができる。 ・ 保護者の希望を確認した上で、11月に個別面談を行っている。
③ 子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を得るための機会を設けている。	○ a・b・c	・ 地域の身近な施設として、在園の如何を問わず、子育て家庭からの相談を受けている。随時、行っており、その記録は全職員が確認できるようになっている。
④ 虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに所長まで届く体制になっている。	○ a・b・c	・ 児童虐待対応マニュアルがある。虐待が疑われる園児がいた場合、その情報は主任保育士、園長に速やかに報告される体制ができている。
⑤ 虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所などの関係機関に照会、通告を行う体制が整っている。	○ a・b・c	・ 事務室には、教育プラザ富樫や警察など関係機関の連絡先が掲示してある。

評価細目の第三者評価結果 末広保育園(保育所版サービス内容評価基準)

A-2-(2) 一時保育

	第三者評価結果	コメント
① 一時保育は、一人ひとりの子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っている。	(a) b・c	<ul style="list-style-type: none"> 一時預かり保育を実施している。一時預かり保育のための保育室があり担当職員が配置されている。 一時保育受入れシステムにより、在園児と同様に、保育時の情報を記録し、保護者にも伝えている。

A-2-(3) 地域における子育て支援

	第三者評価結果	コメント
① 地域の保護者等に対する子育て支援を行っている。	(a) b・c	<ul style="list-style-type: none"> 地域交流室兼活動室があり、未就園児のふれあい教室やベビーマッサージ教室など子育て家庭の育児相談などを行っている。

A-3 安全・事故防止

A-3-(1) 安全・事故防止

	第三者評価結果	コメント
① 調理場、水周りなどの衛生管理は、マニュアルに基づいて適切に実施されている。	(a) b・c	<ul style="list-style-type: none"> 安全管理マニュアル、衛生管理マニュアルは整備されている。
② 食中毒の発生時に対応できるマニュアルがあり、さらにその対処方法については、全職員にも周知されている。	(a) b・c	<ul style="list-style-type: none"> 輪番制で月毎の当番が決められ、全職員への周知徹底が図られている。
③ 事故防止のためのチェックリスト等があり、事故防止に向けた具体的な取り組みを行っている。	(a) b・c	<ul style="list-style-type: none"> 年度当初の職員会議で、マニュアルの確認を兼ねた見直しが行われている。
④ 事故や災害の発生時に対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている。	(a) b・c	<ul style="list-style-type: none"> ヒヤリハットの事例は蓄積され、事例検討を行う際に活用されている。
⑤ 不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている。	(a) b・c	